



神戸ルーテル神学校

2017年度1学期授業聴講のご案内

神戸ルーテル神学校には正規生（M.Div.課程、教職 A 課程、B 課程、ステファンコース）のほかに聴講生の制度があり、これまで、多くの信徒の方々が利用しています。興味のある授業一科目でも聴講できます。ギリシャ語、ヘブル語などの語学や聖書本文の詳しい学び、教会教育や礼拝学などの実践的学び、また、教義学や教会史など、専門的な学びの機会が開かれています。この機会にあなたも神学校の授業を聴講なさいませんか。御言葉の深さを味わい、新しい発見をなさることでしょう。どの学期からでも聴講は可能ですが、1年生の授業が始まる4月が最も良い時期です。2017年度1学期に開講される各授業の概要を参考にしてください、神学校事務室までお申し込みください。なお、2年生、3年生の授業の聴講をお考えになっている方は、先に受講しておかなければ聴講できない科目もありますので、事前にお問合せください。

聴講手続き

聴講ご希望の方は、初回到所属教会の牧師の簡単な推薦状をご提出ください。聴講料は1科目1学期(2単位)23,000円です。聴講生も正規生同様、レポートや発表などの課題をお願いすることになっており、単位を修得することもできます。詳しくは神学校事務室までお問合せください。締切は3月31日(金)とします。電話:(078)221-6956、メール:office@koluthse.jp

各授業の概要

【M.Div/A コース 1年生】

■「旧約緒論Ⅰ」(小賀野英次)

バイブルリーディングとイスラエル史を中心に旧約聖書全体の概観と緒論を学ぶ。聖書地理、聖書考古学、イスラエルの文化などもあわせて学ぶ。

■「ギリシャ語Ⅰ」(正木うらら)

ギリシャ語アルファベットから完了形までを学ぶ。練習問題に力を入れ、一週2コマ行う。

■「新約緒論Ⅰ」(正木牧人)

新約聖書の背景(歴史、文学、言語)、正典、福音書・共観福音書問題、各福音書、使徒の働き、書簡序論などを学ぶ。

■「教義学Ⅰ」(正木牧人)

神学の本質と機能についてのプロレゴメナ(序論的な学び)、他の宗教とキリスト教信仰との関係、一般啓示と特殊啓示、聖書啓示の独自性、聖書とそのキリスト教神学に対する重要性、聖書と信仰告白との関係を学ぶ。

■「神学英書購読」(角川周治郎)1・2年生合同

欧米の神学的文献を英語で読むことにより、基礎的な神学的理解とともに語学力の向上をはかる。

■「教会史Ⅰ」(藤田英彦)

歴史神学の基本過程としての教会史の意味を考察する。またその方法論的諸問題への導入がなされる。紀元4世紀頃までの古代教会史を通覧し、ギリシャ・ローマ世界との折衝における教会の教義、組織、祭儀、生活などの諸側面における発展をあとづける。

■「信条学Ⅰ」(クヌート・アルスボーグ)1・2年生・ステファンコース合同

教会の公同信条(使徒信条、ニケア信条、アタナシウス信条)の成立背景、神学的特徴、教理史的意義などを学ぶ。さらにルーテル教会の諸信仰告白を通覧する。

■「礼拝音楽史」(竹内茂夫)1年生・ステファンコース合同

教会音楽の歴史を旧約聖書時代からバッハまでのバロック期を中心に、その後の時代は讃美歌の歴史にシフトしながら、体感できるように様々な音源を聴きながら学ぶ。

■「説教学Ⅰ」(有木義岳)

コミュニケーション理論。説教の原則。聖書から説教への実際。また説教における律法と福音の明示。説教の演術はⅠ、Ⅱ、Ⅲにある。教会での諸集会、教会学校、家庭集会などで聖書のお話を担当される信徒の方々は、説教学をⅠ、Ⅱ、Ⅲと順を追って受講なさることで、主からの召しに忠実に応える心備えができるでしょう。

■「キリスト教教育Ⅰ」(石崎伸二)

教育の意義、また教育および学習プロセスについての理論を学ぶ。教会の働き全体の中にキリスト教教育を位置付ける。聖書神学の諸テーマ、教会教育の哲学的、教育的、心理学的、歴史的な性格付けに強調が置かれる。

【 MDiv/A コース 2年生 】

■「ヘブル語Ⅱ」(竹内茂夫)

おもに未完了形とそれに類する指示形(指令形/ジャッシブ)、ワウ継続法、願望形(奨励形/コホータティブ)、命令形、弱語根を含む動詞の活用などを学ぶ。

■「旧約神学Ⅱ」(小賀野英次)

「聖書のみ、信仰のみ、恩寵のみ」の原則が、近代合理主義解釈においてどのように否定されてきたかを研究する。また、コンコルダンス、BHSなどを用いて「テーマ」を研究し、基礎的な力をつける。

■ギリシャ語講読(正木うらら)

新約聖書の中からいくつかのテキストを選び、文法を復習しながら読む。

■「新約釈義Ⅰ 第二コリント」(橋本昭夫)

コリントにて新たに設立された会衆の直面した問題(分裂、不道德、異端など)を扱うテキストを取り上げ学ぶ。特に十字架の言葉、恵みの賜物についての教えを重視する。

■「新約釈義Ⅲ 牧会書簡」(有木義岳)

教義上重要な箇所注目して釈義する。それをとおして教職者の秩序、礼拝式と秩序、健全な教えと宣教、「異なる教え」への警戒と現代への適用を学ぶ。

■「教義学Ⅳ」(橋本昭夫)

選びと予定説、キリストにある聖化と新しい生活、祈り。恵みの手段、聖礼典と聖餐(特に他の信仰告白との比較による)、教会の本質と使命。

■「ルター神学」(角川周治郎)2・3年生合同

ルターの神学および思想の内実、彼の著作を通して触れることを目的として開講される。ある著作を毎週少しずつに分けて、全員で読み、一学期を通して通読する。その週の箇所について、全員で感想、疑問、などを分かち合いながら、理解を深めていく。毎週各自が何らかの形で発表すると同時に、他の人の発表について感想、質問などを出す。ルターの基本的な神学的立場について教会史とか教義学で学んだことを、彼自身のことばを通して今一度このような形で再確認するないし探求を図ることは神学生としては必至の作業であり、学びの収穫も大

なることは当然と言えよう。

■「神学英書購読」(角川周治郎)1・2年生合同

欧米の神学的文献を英語で読むことにより、基礎的な神学的理解とともに語学力の向上をはかる。

■「教会史Ⅳ」(正木牧人)

近世におけるローマ・カトリック教会の動き、宗教改革諸教会内での運動、教会の状況と近代への精神的発展の中での神学の状況を検討する。

■「信条学Ⅰ」(クヌート・アルスボーグ)1・2年生・ステファンコース合同

教会の公同信条(使徒信条、ニケア信条、アタナシウス信条)の成立背景、神学的特徴、教理史的意義などを学ぶ。さらにルーテル教会の諸信仰告白を通覧する。

【 MDiv/A コース 3年生】

■「旧約釈義Ⅰ 創世記」(橋本昭夫)

創世記1～3章、22章などの釈義とともに、創造の神に関する現代的諸問題についても考察する。

■「共観福音書Ⅱ」(正木牧人)

対観表(シノプシス)を用い、イエスの出来事の中の、特に重要なものを取り上げ(例:受洗、変貌、主の晩餐、山上の説教等)、釈義演習を行う。

■「ルター神学」(角川周治郎)2・3年生合同

ルターの神学および思想の内実には、彼の著作を通して触れることを目的として開講される。ある著作を毎週少しずつに分けて、全員で読み、一学期を通して通読する。その週の箇所について、全員で感想、疑問、などを分かち合いながら、理解を深めていく。毎週各自が何らかの形で発表すると同時に、他の人の発表について感想、質問などを出す。ルターの基本的な神学的立場について教会史とか教義学で学んだことを、彼自身のことばを通して今一度このような形で再確認するないし探求を図ることは神学生としては必至の作業であり、学びの収穫も大なることは当然と言えよう。

■「教義学セミナー」(正木牧人)

教義学テーマに関する論文の執筆を指導する。学生はそれぞれ教義学のテーマに関して少なくとも一つの論文を提出する。その論文コピーはクラスに参加している学生に配布され、クラス討論の資料とされる。論文の評価は担当教師が行う。

■「日本教会史Ⅱ」(海老原道雄)

禁令の高札の撤去から第二次大戦後の信教の自由に至るまでを概観する。明治期の指導者たちの神学とその働き、特に、政治、経済とのかかわりで教会形成の障壁となった問題と教会の対応を通して日本における教会史の意味を考究する。

【ステファンコース1・2年生】

■「新約緒論Ⅰ」(正木牧人) MDiv/A コース1年生と合同

新約聖書の背景(歴史、文学、言語)、正典、福音書・共観福音書問題、各福音書、使徒の働き、書簡序論などを学ぶ。

■「教義学Ⅰ」(正木牧人) MDiv/A コース1年生と合同

神学の本質と機能についてのプロレゴメナ(序論的な学び)、他の宗教とキリスト教信仰との関

係、一般啓示と特殊啓示、聖書啓示の独自性、聖書とそのキリスト教神学に対する重要性、聖書と信仰告白との関係を学ぶ。

■「信条学Ⅰ」(クヌート・アルスボーグ) MDiv/A コース1・2年生と合同

教会の公同信条(使徒信条、ニケア信条、アタナシウス信条)の成立背景、神学的特徴、教理史的意義などを学ぶ。さらにルーテル教会の諸信仰告白を通覧する。

■「説教Ⅰ」(有木義岳) MDiv/A コース1年生と合同

コミュニケーション理論。説教の原則。聖書から説教への実際。また説教における律法と福音の明示。説教の演術はⅠ、Ⅱ、Ⅲにある。教会での諸集会、教会学校、家庭集会などで聖書のお話を担当される信徒の方々は、説教をⅠ、Ⅱ、Ⅲと順を追って受講なさることで、主からの召しに忠実に応える心備えができるでしょう。

■「礼拝音楽史」(竹内茂夫) MDiv/A コース1年生と合同

教会音楽の歴史を旧約聖書時代からバッハまでのバロック期を中心に、その後の時代は讃美歌の歴史にシフトしながら、体感できるように様々な音源を聴きながら学ぶ。

■「小教理問答教授法」(石崎伸二)

マルティン・ルターの「小教理問答書」の歴史的背景、目的、構造などを理解したうえで、各項目の内容や意味の理解を深め、教会における具体的な使用法や教授法について学ぶ。

(課外集中講座)

「ラテン語Ⅰ」(クヌート・アルスボーグ)

受講希望者3名で「ラテン語Ⅰ」を開講します。これはアルスボーグ師による課外集中講座で、7回行います。今年は「ラテン語Ⅰ」、来年は「ラテン語Ⅱ」と、交互に開講します。ⅠとⅡの受講によりラテン語文法の基礎を学ぶことができます。ご希望の方は神学校事務局までご連絡ください。なお、受講者が3名に満たない場合は開講されませんので、ご了承ください。日程は時間割でご確認ください。この科目は単位取得できません。



神戸ルーテル神学校

651-0052 神戸市中央区中島通 2-3-5

TEL : 078-221-6956 FAX : 078-221-5825

E-mail : office@koluthse.jp